

神崎町空家等対策計画策定業務企画提案書等評価基準

1. 評価基準

	評価項目	項目番号	審査項目	配点 A	評点 B	点数 A × B
全体評価	業務内容の理解度		業務内容（目的、課題等）の理解、及びそれに対処するための知識等は十分であるか。	2		
	業務内容の的確性		仕様書の内容を的確に捉え、町が行っている空き家対策の業務改善や問題解決が図られる提案であるか。	2		
提案事項	具体的な施策提案		業務の流れと作業内容が具体的かつ実施可能な提案となっているか。	3		
			現状把握や課題抽出、所有者等の意向把握とその分析方法が適切で実施可能な提案となっているか。	3		
			対策計画の考え方が現計画の課題を解決し、空き家対策の計画として適切な提案となっているか。	3		
運営体制	実施体制		本業務の進捗を管理し、確実に実施できる体制（人員配置等）が整っているか。	2		
	スケジュール		業務の目的を効率的に達成できる日程設定となっているか。	2		
	業務実績		本業務と類似した業務履行実績などから本業務を効果的に遂行できる能力があるか。	1		
その他	受託希望金額		点数（5点）×（提案価格のうち最低価格÷自社の提案価格） ※小数点以下第2位を四捨五入する。	計算式		
	創意工夫		実態調査及び対策計画改定の業務精度を高め、円滑に進めるための独自の提案はあるか。	1		
合計						

2. 採点基準における評点

区分	評価
5	優れている
4	やや優れている
3	普通である
2	やや劣っている
1	劣っている
0	該当しない

点数＝評価基準表の配点×採点基準における評点